



東 灘 北川レポート



<http://www.e-album.co.jp/kitagawa/>
平成16年秋号 Vol.6

神戸市議会議員
北川みちお

◆検 証◆

公明党の実績

『庶民の目線』で政策を実現

- ◆児童手当、奨学金制度の拡充
- ◆ジョブカフェなど若年者雇用を促進
- ◆借換保証など中小企業支援策を充実
- ◆ストーカー規制、児童虐待防止法
- ◆文化芸術立国、観光立国への推進

公明党の政権参加5年間で「これまでの政権ではなし得なかった生活者の感覚、庶民の目線を大事にする政治」(神崎代表)が大きく前進しています。

具体的には、公明党の力強い提案・推進で、児童手当、奨学金、保育所待機児童ゼロ作戦などの子育て支援策が格段に充実したほか、企業実習と教育訓練を組み合わせた日本版デュアルシステムの導入やジョブカフェ(若者向けの統合就職支援拠点)設置などの本格的な若年者雇用対策が前進。

また、資金繰り円滑化借換保証制度など中小企業支援策の拡充や、循環型社会形成推進基本法の制定をはじめとする環境政策への取り組み、さらには人権を守るストーカー規制法や児童虐待防止法の制定など、数え切れないほどの実績を残しています。

そして、21世紀の新たな日本の在り方についても、文化芸術振興基本法の制定をはじめとした「文化芸術立国」「観光立国」への推進を強力に進めています。



北川みちお 活動日誌



◎フォーラム「難病克服への挑戦」

2004/7/4 (日)

関西医大、池原進先生が「難病の革新的治療法」と題して、骨髄内骨髄移植という方法で難病克服の可能性が出てきたというお話をされました。自己免疫疾患やアルツハイマーにも臨床応用できる可能性があるということで、難病で苦しんでおられる患者さんにとっては朗報です。

◎David Kadouch(デヴィッドカドージュ)ピアノリサイタル 2004/7/23 (金)

オルビスホールで東灘文化協会後援のピアノ演奏会がありました。David Kadouchはフランス、ニース生まれの若手ピアニストで21世紀を代表するピアニストになると期待されています。会場のオルビスホールは六甲アイランド、ファッション美術館5Fのこじんまりとしたホールですが、芸術文化の振興にもっと多く利用していただきたいホールです。

◎アレルギー研修会

2004/7/24 (土)

アレルギー患者数は近年益々増加、国民の3人に1人が何らかのアレルギー疾患にかかっているといわれております。アレルギー科という看板があってもアレルギー専門医がない施設もあり、専門医によるガイドラインに沿った治療が必要です。「アトピー性皮膚炎」「小児喘息」「気管支喘息の共同管理」の各テーマで講演がありました。

神戸市においてもアレルギー疾患対策に本年500万の予算を取らせましたが継続して進めて行くつもりです。

◎福井豪雨被災者救援募金

2004/7/31 (土)

三宮センター街入り口で公明党議員団で募金活動を行いました。台風の接近で時折の雨にもかかわらず大勢の人からご協力いただきました。

◎五大市政策勉強会

2004/8/4 (水)

神戸、大阪、京都、名古屋、横浜の五大市の公明党議員の勉強会に参加しました。今年のテーマは明年に控えた介護保険の見直しについてでしたが、各市の課題について厚生労働省の担当課長も交えて討論しました。障害者支援費制度との統合問題もあり議論の積み重ねが必要と感じました。又介護予防についての各市から報告もありました。



◎神戸市会本会議開催

2004/9/14 (火)

市会本会議が始まりました。10月7日までの間、主に平成15年度の公営企業会計決算についての審議があります。公営企業8会計のうち4会計が単年度収支赤字で厳しい状況です。バスや地下鉄の交通局や上下水道局などの事業が、思いきったコスト削減をはかり、経営改善に向けて努力するように要望していくつもりです。



◎病院事業審査

2004/9/28 (火)

病院事業審査について私が保健福祉局長などに質問いたしました。患者サービスの一環として中央市民病院にセカンドオピニオン専門外来の設置を要望しました。今は、特にガンや心臓病の治療は日進月歩で、治療についての選択肢が多いので、自宅近くの病院にかかっている人も、中央市民病院の専門医に相談したい人は多くいるので、セカンドオピニオン専門外来の設置を検討するよう訴えました。



ルールを守ってごみの減量・資源化を...

11月からごみと資源の6分別収集が始まります

市は、ごみの減量・資源化を進め、環境にやさしい循環型社会を実現するため、ごみと資源の分別を見直し、十一月から「缶・びん・ペットボトル」、「荒ごみ」、「家庭ごみ」の三分別収集を六分別収集に変更します(下図参照)。

一人ひとりが六分別に取り組むことで、ごみの減量・資源化を進め、こどもや孫たちに美しい地球を残していきましょう。



ごみの資源の分け方・出し方



・収集日当日の午前5時から午前8時の間に必ず決められた場所へ出してください。
 ※ポリ袋は、必ず中身の見える無色またはブルー系のものを使ってください。

缶・びん・ペットボトル



ポリ袋(同じ袋と一緒にに入れてください)で
 地域で決めたクリーンステーション
 (ごみ集積場)へ 月2回収集

大型家具・自転車



市大型家具・自転車受付センターに
 申し込み(無料) TEL.392-7953
 FAX.392-5500

月～金曜日 午前9時～午後4時
 (12月29日～1月3日は除く)

受付センターから指定された日に、受付番号を
 記入した紙を張って、家の前(受付センターと
 確認した場所)に出してください

粗大ごみ/金属系ごみ



(粗大ごみ)そのまま(金属系ごみ)ポリ袋で
 地域で決めたクリーンステーション
 (ごみ集積場)へ 月1回収集

燃えないごみ



ポリ袋で
 地域で決めたクリーンステーション(ごみ集積場)へ 月1回収集

カセットボンベ・スプレー缶



ポリ袋(カセットボンベ・スプレー缶 キケンと表示)で

地域で決めたクリーンステーション(ごみ集積場)へ 月1回収集

燃えるごみ



ポリ袋で
 地域で決めたクリーンステーション
 (ごみ集積場)へ 週2回収集

※新聞・雑誌・ダンボールなどは資源集団回収を、トレイや牛乳パックなどは店頭回収を、ご利用ください。
 エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、パソコンは市で収集しないため、販売店やメーカーなどに引き渡してください